

## 栄東まちづくり協議会 3 月協議会 議事録

日 時：2025 年 3 月 6 日（木）18:00～19:45 場 所：栄東まちづくり協議会会議室  
出席者：野田、田端、辻本、谷澤、近藤、佐野、小澤、藤井、池田、山岡、鈴木、只井

### ●栄東発展会から推薦を受けた委員の交代について

2025 年 2 月 20 日付で江口委員から佐野委員に交代した。

### ●定足数及び議事録署名人について

13 人中 12 人の出席で栄東まちづくり協議会規約第 10 条第 2 項の規定（在籍委員の過半数の出席）により有効に成立。議事録署名人：佐野委員、鈴木委員

### ■議題

#### 1. 栄東まちづくり協議会規約の改正について

栄東まちづくり協議会規約の改正について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 栄東まちづくり協議会規約を改正することが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・例えば、会長に何かがあって途中交代せざるを得なくなったときは、2 年ごとに地域 3 団体で持ち回りのため、必ずその地域団体から別の人を出してもらうということでしょうか。

→その通りである。

#### 2. 2024 年度予算の修正について

2024 年度予算の修正について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度予算の修正について、資料に記載の事業執行案と予算修正案の通り予算を修正して事業を進めることが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

#### 3. 事業評価（最終）について

事業評価（最終）について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 事業評価（最終）について、資料に記載の実施方法により、各地域団体及び行政委員に評価を依頼することが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・課題と改善策等の欄について、特に思い当たらなければ書かなくていいのか。  
→「特になし」の記載でよい。
- ・課題と改善策を記載するにあたって、「実施済み」とだけ記載されている事業について

でも今後は実施内容がこの評価シートの中で分かるようにしてもらえるといい。  
→次回以降対応していく。

#### 4. 2025 年度予算の修正について

2025 年度予算の修正について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2025 年度予算について、2024 年度の売上額（環境整備協力費）の確定に伴い、2025 年度の予算額を資料に記載の修正項目の通り修正し、確定させることが全員一致で承認された。

（意見）

- ・ 2 月分の売上額が本日分かり、前年度比が約 87%であった。年間では前年度比で 98%を切るくらいになると予想される。

#### 5. 2025 年度事業計画の修正について

2025 年度事業計画の修正について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2025 年度事業計画について、資料に記載の案の通り修正することが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・ 数年前に常滑へモザイクタイルの見学に行くとか、まちづくりに関わる方の講演を聞くという計画があったがコロナで中止になってしまい、それ以来そういった機会がない。予算がないといっても、必要になるのは講演の謝礼程度であり、常滑にしても現地集合みたいな感じでやればいいと思う。その 2 つをもう一度復活させるか、それに代わる何か予算に影響しないような事を立案・実行するというようなことも来年度 1 回ぐらいはしていただきたい。

→その件については、調査研究事業の他地域の先行事例の調査の中で計画されたと認識している。常滑への視察については、中日ビルの建て替えに際し、池田公園のトイレに中日ビルのモザイクアートを移設するという計画に関連し、企画された。また、講演会については他地域のまちづくりの事例研究として企画されたが、どちらもコロナで中止となった。

2025 年度の調査研究事業は、地域要望を踏まえ、経費をかけずに今年度の調査の深掘りをするということで決定しているところ、今ご提案のあったような企画を実施したいという要望を出していただければ、予算も含めて事業計画として検討することができると思う。しかし、2025 年度に実施しようすると、2025 年度の予算と事業計画ではそこまでは含まれておらず、また今年度の売り上げが非常に厳しい中でどこから予算を持ってきて実施するのか。地域で検討いただき、予算の流用元も含めて実施にかかる合意が取れて、協議会で決定できるのであれば来年度の実施もできるかもしれない。

- ・ 2025 年度の予算がないのは十分承知している。先ほど提案したように、講師の人

よつとしたお礼をお願いするほかは全部実費にするという形等、予算をかけない方法で実施してはどうか。地域団体で改めて検討するのではなく、過去に中止になった企画を復活するという形ではどうか。

- ・講演会と視察を分けてはどうか。講演会は謝金を払うぐらいで比較的实施しやすいと思う。講演会も、例えば協議会の委員のみ等の小規模な勉強会とするのか、各地域団体の会員を対象とする大きい会とするのかでも違う。

→先ほどから話が出ている企画については中止になったが、その翌年度にまちづくりビジョンについて改めて学ぶということで、まちづくりビジョンとはということと、全国のビジョンの事例を紹介してもらい勉強会を実施した。例えば、小規模な勉強会のようなものができるか、実施するとしたらどういう人選でやるのか等を事務局で検討して来年度ご意見を伺う機会をいただければと思う。今回のご提案については、視察や講演会が過去に企画されたため、来年度そういった企画をやってはどうかというご要望と受け止める。

## 6. 2025 年度街路灯整備事業 新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて

2025 年度新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて資料の通り説明した。

- ＜審議事項＞ 2025 年度新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて、資料の通り取り替えを進めることが全員一致で承認された。
- なお、経費支出は 2025 年度補助金交付後となる。

（質問、意見）なし

## 7. 2025 年度環境美化事業について

### （1）落書き消し活動の実施について

2025 年度落書き消し活動の実施について資料の通り説明した。

- ＜審議事項＞ 2025 年度落書き消し活動の実施について、資料記載の役割に基づき、所要の経費を支出することが全員一致で承認された。
- なお、経費支出は 2025 年度補助金交付後となる。

（質問、意見及び回答）

- ・東新町の高速道路の橋脚の落書きが増えているが、これは地域で対応する必要はないという理解でいいか。中電の配電盤なのか、その近隣の歩道上の四角いボックスも落書きが多くなっている。
- ・基本は高速道路の落書きの対応は名古屋高速がやるものである。
- ・中土木事務所から名古屋高速に一度確認してご報告する。確認する内容としては、名古屋高速が消すかということと、落書きが地域にとって決して良い影響を及ぼすものではないため、すぐに対応できない場合、地域で消すことを認めるのかということ。
- ・今年度の落書き消し活動は 6 月の第一土曜日に実施したが、その後に大きな落書きが数か所増えたため、12 月 8 日の日曜日に小規模な落書き消し活動を実施した。数年前

に比べて落書きが増えているため、来年度は 6 月 7 日の実施としているが、落書きが増えた場合、それ以降に小規模で実施する可能性もある。

## (2) まち美活動の実施について

2025 年度まち美活動の実施について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2025 年度まち美活動の実施について、資料記載の役割に基づき、所要の経費を支出することが全員一致で承認された。  
なお、経費支出は 2025 年度補助金交付後となる。

(質問、意見) なし

## 8. 2025 年度地域活性化事業 夏まつりの実施について

2025 年度夏まつりの実施について資料の通り説明した。事務局から実行委員会のあり方について問題提起した。

＜審議事項＞ 2025 年度夏まつりの実施について、資料記載の役割に基づき、所要の経費を支出することが全員一致で承認された。  
なお、経費支出は 2025 年度補助金交付後となる。

(質問、意見及び回答)

- ・ 実行委員会については今年度までと同じように実行委員会を組織するのか、実行委員会を組織するのであれば任期を見直す、年度を通じて同じメンバーとする等様々な意見を地域団体からいただいている状況である。そのうえで、2025 年度の事業計画では実行委員会を設置するとなったため、それに沿って事業を実施していくが、具体的にどのように実行委員会を組織していくのか、変えるのであれば動き出しは早い方がいいのではないかとということで、例年 4 月にご審議いただいている夏まつりの実施について早めの 3 月にご審議いただくこととした。審議事項は役割と経費支出についてであるが、現時点で変更を検討されているか等現状を伺いたい。
- ・ 実行委員会を組織すると実行委員だけが活動することになってしまう。みんなで盛り上げていきたいという思いがあり、そういった意見を申し上げたところである。名城大学、名工大、相山女学園大学の 3 校の先生にお願いして、まちづくりに興味があるゼミ生を紹介してほしいという話をしているが、それが今年の夏まつりに間に合うかどうかの問題である。どちらにしても地域イベントであり、我々でやっていかなければいけないとは思っている。実行委員会でするのはいいが、実行委員だけでなくその他の人達にも協力いただきたいということである。
- ・ 実行委員会でする場合も、毎年同じ人が実行委員をしているので人材育成にならない。
- ・ 実行委員会のないイベントはないため、実行委員会は作った方がいいが、それをどうやって運営していくかが問題である。実行委員だけでやろうとしているから誰も手伝わないので、実行委員会でみんなを巻き込んでほしい。夏まつりは、災害があった時に顔が分かる人が多く、一致団結して助け合える地域を作るという目的でやるため、みんなで

楽しくやるという方針で実行委員会をやってほしいと思う。

- ・ 議題 8 の審議事項の確認をしたい。事業計画では、実行委員会を組織すること、協議会は実行委員会で決定した内容に従い事業の実施に必要な経費を支出すると記載されており、これがすでに議決されている。議題 8 の審議事項としては、事業計画に内容に従い事業を実施していいかということなので、この内容だけからすると賛成としか言いようがない。しかし、事業計画にはこのように記載されているが、事業計画に書かれている目的を達成するためにどういう形で実行委員会を組織し、夏まつりを実施するといったのか、少なくとも実行委員会を少数精鋭だけでやろうとすると力尽きてしまうので何か意見があればお願いしたいという話をしたいということでもいいのか。事業計画には実行委員会を組織すると明確に記載されているが、議題 8 に関連して課題があるので、何らかい方法がないのかをみんなで意見を出し合う場にしようということか。  
→委員の皆さんが意見を出し合ってもいいということであればこの場でということになるし、別日で 3 会長と相談してほしいということであればそれでもよい。
- ・ 各会から協議会委員に選出されている代表委員の方々からすると、3 団体に持ち帰って報告する時になかなか報告しにくいやりとりを今から始めることになってしまうので、形式論で言うとプロセスとして 3 会長で話をしたうえで次の議題にした方が本当はいいと思う。しかし、3 会長でといっても簡単に答えが出る話ではなく、試行錯誤のうえ大学にも声をかけているということであれば、この協議会の場では事業の実施をすることについて審議したうえで、実行委員会について事業目的を達成するためにどうしていけばいいかということ別途協議するというやり方がいいのではないか。  
→事務局として今回あえて実行委員会について確認したいと思った理由は、実行委員会に対する様々な意見が事業要望の際に既に出されている中、その詳細な対応案については待っていても地域から出てこない可能性もある。結局今までと変わらない状態で進んでいくというのが本当にいいのかという思いがあり、一度協議会の場で状況を伺いたいと思ったものである。
- ・ この 3 年間は 3 団体で 2 人ずつ出して 6 人で実行委員会を組織している。以前はどうだったかという寄付金を集めたりして老松小学校にもっと多くの人を集めて 2、3 回やった。もう少し人数を増やさないと盛り上がらないということかもしれない。去年も一昨年も栄東発展会の方から実行委員として出ていただいた委員がいるので、実際 3 年間活動した感想をお聞かせいただきたい。
- ・ 実行委員会を組織する目的として、協議会の予算を使うのにこの地域 3 団体が一緒にやっていることを示すために 3 団体で組織される実行委員会というのが一番分かりやすいからかなという理解をしている。もっと多くの人を巻き込みたいという話は実行委員の中でもあった。当日は非常に多くの人が協力してくれるが、準備段階では実行委員に任せるといった流れがあって、その負担というのは偏っていると思う。実行委員の悪い面はそういったところにあるのではないかと思う。
- ・ 各団体からの人数を 2 人ではなくもう少し増やすというのはどうか。
- ・ 協議会の予算を使うのに実行委員会が必要なのか、また地域に全然関係ない人を巻き込んだ時に協議会予算が使えないということではいけないと思うが、そのあたりはどうか。
- ・ 協議会で決めて地域に関係あるものであれば問題ない。

- ・事務局より実行委員会制となった趣旨について補足説明する。実行委員会を組織したのは、協議会の補助金だから 3 団体に関わる形で運営や企画をするような組織が必要だということよりは、栄東まちづくりの会がイベントのいろんな細かいところも含めて運営して行く中で、地域イベントであるのにそれ以外の団体に自分ごと感がないということの問題視し、それぞれの団体から実行委員を出してもらって地域イベントをやりたいということだったと認識している。実行委員は各団体 2 人ずつだが、その人達が企画も準備もする実働部隊でもあるということから、負担が大きいということが課題だと思う。協議会の補助金だから 3 団体で実行委員会を作らなければいけないというような趣旨ではなかったと認識している。
- ・この議論に違和感を感じている。今回の審議事項は資料記載の役割に基づいて経費支出してよろしいか、である。協議会の役割は何かというと事業予算の範囲内で広報資料の作成等の手配を行う、である。実行委員会についてはこの審議事項に入っていないのではないか。この場で実行委員会を設置するかどうかを議論すること自体に違和感を感じる。夏まつりは地域 3 団体と協議会の共催であり、4 団体のイベントである。イベントによっては実行委員会が主催となることもあるが、夏まつりについては 4 団体での共催イベントになっており、実行委員会が必要かどうかということであれば協議会を含めて 4 団体の話し合いで実行委員会を設置するかどうかを決めるのが筋ではないか。
- ・2025 年度の予算については、昨年 11 月頃からずっと審議をし、予算及び事業計画が確定した。協議会では様々な意見が出た中でこのような事業計画及び予算となっており、実行委員会を設置することは協議会としては決まったことなのではないかと思う。この通り審議すればいいのではないか。  
→審議事項としては、事業予算の範囲内で広報資料の作成等の手配を行っていいかということであるが、実行委員会制の改善について地域から出されている様々な意見を踏まえ、実行委員会制がどのように変わるのか、どういった議論がなされているのかという状況を聞いたかったという趣旨である。実行委員会の設置についてここで審議したいということではない。
- ・もともと協議会がない時には、地域イベントの企画・運営は、栄東女子大小路ビル協会と栄東発展会から構成されている栄東まちづくりの会でやっていた。協議会はお金の受け皿ということで事業はやらないと聞いていた。基本的に夏まつりは、昔は安全推進委員会があり、主要メンバーが実行委員のような形で毎年担当役割を持ってやっていた。それが今はなくなったため、実行委員会がそれぞれ役割を担ってやってもらうというイメージだったと思う。もし実行委員会を作らないのであれば、どういう組織で運営するのか決めないとやる人がいない。
- ・夏まつりは 53 回やっているが、協議会ができる前は地域 3 団体が主催だったと思う。今は実行委員会を主管とし、地域 3 団体と協議会は共催になっているため、本当は実行委員会がもっと動かないといけない。
- ・議決とは別として、この協議会には行政委員以外は地域 3 団体から 2 名ずつ出席されており、また行政委員は実行委員会制に意見はないと思うため、実行委員会制についての話し合いはこの場ですればよいと思う。但し、それは協議会としての議論ではない。

## 9. 2025 年度その他事業について

2025 年度その他事業について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2025 年度行事保険について、資料記載の案に基づき、行事保険の加入を進めることが全員一致で承認された。

なお、経費支出は 2025 年度補助金交付後となる。

（質問、意見及び回答）

・保険料は妥当か。

→昨年度までは行事ごとに保険を掛けており、合計金額はこの度説明した保険よりかなり高かった。もともと協議会で保険に加入する際は、協議会が法人格のない任意団体であるため、保険商品の選択肢が少なかった。その中で、この度説明した保険（NPO 活動総合保険）に加入できることが分かり、今年度より、行事ごとではなく、年単位で保険を掛け、補償内容が以前より手厚くなり、保険料は安価になったものである。

・池田公園の中で起こった事故に限られるのか。

→そうではない。活動中に起きた事故等は対象となる。

・協議会の事業のみで、地域団体の活動は対象外か。

→あくまで資料の補償対象事業に記載されている 6 つの事業が対象である。

・自分達が怪我をした時だけが対象となるのか。

→運営スタッフや活動に参加している人自身がけがをした時の傷害保険だけではなく、誰かに怪我をさせたり、物品等を壊してしまった場合や、会場内の設備等により参加者が怪我をした時等の賠償責任保険の部分も網羅した補償内容となっている。

・入院・通院の 2,000 円は低いのではないか。

→この日額が低ければ、上げることはできるが、協議会で保険加入をする以前に地域団体で加入していた行事保険の補償内容を踏まえ、一部は保険金額を上げて現在の金額となっている。

・あくまで最低保障で、特に賠償補償が大きくなっており、何かあった場合には対応できるのでいいのではないか。

## 10. 2025 年度協議会所有ポータブルマイクの貸し出しについて

2025 年度協議会所有ポータブルマイクの貸し出しについて資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 栄東まちづくり協議会が所有するポータブルマイクについて、2025 年度に栄東まちづくりの会へ貸し出すことが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

## ■報告事項

### 1. 防災事業 防災・防犯講習会の実施について

防災・防犯講習会の実施について資料の通り報告した。

(質問、意見)

- ・先日開催した実行委員会の反省会で、講習会のテーマについて参加者にアンケートを取った方がいいという意見があり、次回からはアンケートを実施し、再来年度の講習会の参考にしたい。
- ・コロナ前の講習会では来賓紹介の代わりに来賓名簿を作成しており、現在は作成していないが、それでよいのか。
- ・以前は各行政に出席依頼のご挨拶にも伺い、来賓の出欠を取って名簿にしていたが、最近はやらなくなった。挨拶周りも含め、どこまでするかということは 3 会長で提案いただきたい。
- ・多文化共生の講演会で、話した内容が同時に 2 か国語で画面に出る通訳装置が導入されていた。講習会にもそういういった仕組みを取り入れた方が効果が高まるのではないかと。→来年度以降に活かすためにも、ぜひ事業評価に文字で書いていただきたい。

## ■その他

### 1. 次回協議会の日程について

次回協議会は 4 月 24 日（木）18:00 より栄東まちづくり協議会会議室にて開催する。

以上